

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	11	図書館維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	110,369千円	113,105千円	118,233千円	0千円
総人件費	3,797千円	3,714千円	3,714千円	
総事業コスト	114,166千円	116,819千円	121,947千円	

事務事業名	01	図書館及び視聴覚センターの維持管理事業	指標名	-				指標種別										
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	-						
戦略プラン			実績	-	-	-												
総合戦略			H27年度				H28年度				その他の指標	-						
	改善目標	図書館及び視聴覚センターを利用者が安全で快適使用できるよう維持管理し、費用対効果を考え修繕を進める。				改善目標	図書館及び視聴覚センターを利用者が安全に快適に使用できるよう維持管理し、費用対効果を考え修繕を進める。											
個別計画	-		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス清掃及び施設設備管理業務</li> <li>・警備業務</li> <li>・植栽管理業務委託</li> <li>・アルス冷却塔交換修繕工事</li> <li>・アルス地下排水ポンプ交換修繕工事</li> <li>・アルス冷温水冷却水ポンプ整備修繕工事</li> <li>・アルスカフェテリア屋根防水修繕工事</li> </ul>				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルス清掃及び施設設備管理業務</li> <li>・警備業務</li> <li>・植栽管理業務委託</li> <li>・アルスホール電動吊物昇降装置制御盤(中板)交換修繕工事</li> <li>・アルス熱源切替バルブ交換修繕工事</li> <li>・アルス区分閉器設置修繕工事</li> <li>・アルス空調機整備修繕工事</li> <li>・図書館和室・集会室ロスナイ交換修繕工事</li> </ul>				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
根拠法令等	-			活動実績	アルス清掃及び施設設備管理業務・警備業務・植栽管理業務委託等及びアルス冷却塔交換修繕工事・アルス地下排水ポンプ交換修繕工事・アルスカフェテリア屋根防水修繕工事・その他修繕については、ほぼ計画どおりに執行することができた。				上半期活動実績					事業費(A)	110,369千円	113,105千円	118,233千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業		成果		アルス清掃及び施設設備管理業務委託等及びアルス冷却塔交換修繕工事・その他修繕については、ほぼ計画どおりに執行し、市民が、安全で快適に使用できるよう、適切な維持管理を行うことができた。					上半期成果					国庫支出金	0千円	0千円	0千円
執行体制	一部委託			課題	施設設備は、年数が増すごとに老朽化の度合いを増してくるので、今後、修理箇所が増加してくると思われる。これに、優先順位をつけ、計画的に適切に対応する必要がある。				課題						県支出金	0千円	0千円	0千円
事業の目的	市民の生涯学習の拠点である、中央図書館及び視聴覚センターを安全で快適に使用できるよう、適切な維持管理を行うこと。		事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事業の概要	年間を通しての施設・設備の維持管理業務委託等及び施設・設備修繕必要箇所の修繕工事等の施工等を行い、安全で使いやすい施設の維持管理に努める。主なものはアルス冷却塔交換修繕工事、アルス地下排水ポンプ交換修繕工事等である。		評価		有効性	中：適切な成果が得られている	評価		有効性	-	その他特財	31,475千円	35,722千円	32,332千円	0千円		
ISO 14001 関連性		環境性	評価		効率性	中：適切な費用対効果が得られている	評価		効率性	-	一般財源	78,894千円	77,383千円	85,901千円	0千円			
	総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		総合評価		-	人件費(B)	3,797千円	3,714千円	3,714千円					
												内訳	正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	
													時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
													臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	114,166千円	116,819千円	121,947千円			
												H29年度当初積算根拠	-					
												H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	01 読書推進事業				指標名	-				指標種別				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	
戦略プラン					実績	-	-	-	-	-	-	-		
総合戦略					H27年度				H28年度				その他の指標	
個別計画					改善目標	読書推進及び図書館利用促進に向け、事業の広報をし、多くの参加者を募る。				改善目標	読書推進及び図書館利用促進に向け、事業の広報をし、多くの参加者を募る。			
根拠法令等	特になし				事業計画	・わくわくランド事業 開催日：5月10日 ・ファーストブック講座 開催日：3月13日 開催日：3月19日				事業計画	・わくわくランド事業 ・ファーストブック講座 ・出前講座(随時)			
事業分類	A 任意的事業				活動実績	・わくわくランド事業 開催日：5月10日 参加者 25名 ・ファーストブック講座 開催日：3月13日 参加者 26名 開催日：3月19日 参加者 17名				上半期活動実績	-			
執行体制	職員のみ				成果	読書推進及び図書館利用促進活動ができた。				上半期成果	-			
事業の目的	年代に対応した事業を数多く開催することによって、読書活動の推進と図書館利用の推進を図るため。				課題	読書推進事業の参加について、多くの参加をいただけるよう、日程を検討し、広報等を広く行う必要がある。				課題	-			
事業の概要	<わくわくランド事業> こども読書週間にあわせ低年齢者向けの事業(おはなし会, パネルシアター等)を開催する。 <ファーストブック講座> 赤ちゃんと保護者が絵本を通じて、ふれあうことの楽しさを伝え、子育てに絵本を活用するきっかけを作る。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	
ISO 14001 関連性	-	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度の方向性	理由
					評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-			
					評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	02	自動車図書館の運営事業	指標名	貸出冊数				指標種別	成果指標	指標の概要	自動車図書館(2台)で貸出しを行った年間資料冊数		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
戦略プラン			実績	46559	43012	-							
総合戦略			H27年度				H28年度				その他の指標	-	
改善目標			改善目標	・貸出数や利用者数が少なくなったステーションの見直し。 ・図書館サービス要望の強い研究学園地区へのステーション新設。				改善目標	・貸出数や利用者数が少なくなったステーションの見直し。				
個別計画	-		事業計画	「事業の概要」の通り年間を通じてステーションにて図書館業務を行う。また、翌年度の運行スケジュールを2月に最終決定するため、随時決定に向けて現行スケジュールの見直し、新規ステーションの検討を行う。				事業計画	市内48ヶ所に設けたステーションに火曜日から金曜日に自動車図書館者2台を使って巡回し、貸出および返却等のサービスを行う。各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。				
根拠法令等	-		活動実績	・ステーションとなっている小学校の新入生に対して「新一年生カード」を作成した。 ・運行スケジュールの見直しを行い、後期10月からつくば市役所にステーションを設け巡回を開始した。 運行日数 160日 利用者人数 11,312人				上半期活動実績	-				
事業分類	A	任意的事業	成果	つくば市役所のステーション巡回によって、利用者の利便性の向上が図られた。				上半期成果	-				
執行体制		職員のみ	課題	ステーション設置時と比べ利用が減少しているステーションの処遇。自動車図書館の利用者が減少傾向にある点。				課題	-				
事業の目的		市の広大な面積をカバーし図書館のある市中央部と周辺地区における地域間格差を減少させ、地域図書館としての役割の一部を担うため。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
事業の概要		市内48ヶ所に設けたステーションに火曜日から金曜日に自動車図書館車2台を使って巡回し、貸出および返却等のサービスを行う。各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-		
ISO 14001	-	環境性	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-		
			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	総合評価	-		
			事業実施コスト				H26年度決算				H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
			事業費(A)				0千円				0千円	2,481千円	0千円
			国庫支出金				0千円				0千円	0千円	0千円
			県支出金				0千円				0千円	0千円	0千円
			地方債				0千円				0千円	0千円	0千円
			その他特財				0千円				0千円	0千円	0千円
			一般財源				0千円				0千円	2,481千円	0千円
			人件費(B)				11,409千円				11,156千円	11,156千円	
			正職員				従事割合				1.50人	1.50人	1.50人
			内訳				時間外勤務				7.00時間	5.00時間	5.00時間
			臨時職員等				無				無	有	
			事業コスト(A+B)				11,409千円				11,156千円	13,637千円	
			H29年度当初積算根拠				-						
			H29年度当初積算根拠				-						
			理由				-						

# 予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

事務事業名	03 学校図書館支援事業				指標名	ブックトーク事業参加校				指標種別	活動結果指標				指標の概要	学校訪問ブックトーク参加校(市内小中学校)				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン					実績	42	45	-												
総合戦略					H27年度				H28年度				その他の指標							
改善目標					改善目標	子どもたちが集う魅力ある学校図書館づくりを支援するため、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修を行い、図書館からの働きかけと併せて読書推進できる環境を整える。				改善目標	引き続き学校図書館支援にあたり、学校図書館の研修指導等については、学校や教育指導課との調整をする。また、図書館で行っている支援事業への参加を推進する。									
個別計画					事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出し</li> <li>・職場体験学習</li> <li>・ジュニア図書館</li> <li>・学校訪問ブックトーク事業</li> <li>・社会科見学</li> <li>・司書教諭補助員研修会</li> </ul>				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出し</li> <li>・職場体験学習</li> <li>・ジュニア図書館</li> <li>・学校訪問ブックトーク事業</li> <li>・社会科見学</li> <li>・司書教諭補助員研修会</li> </ul>				内訳					
根拠法令等	特になし				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係団体貸出し 52回 5,117冊</li> <li>・職場体験学習10校</li> <li>・ジュニア図書館25人</li> <li>・学校訪問ブックトーク事業10月20日～1月27日 参加校 45校(小学校37校・中学校8校)</li> <li>・社会科見学10校</li> <li>・司書教諭補助員研修会(5/26新任5校, 全体研修会8/20)</li> </ul>				上半期活動実績	-				事業実施コスト					
事業分類	A 任意的事业				成果	学校図書館と連携し、読書推進が図れ、学校訪問ブックトークに関しては、小学校37校・中学校8校が参加してくれた。				上半期成果	-				事業費(A)					
執行体制	職員のみ				課題	学校図書館支援については、概ね成果を得ていると思われる。課題としては、学校図書館司書教諭補助員に対する研修指導等について、学校や教育指導課との調整をし実施方法の検討が必要と思われる。				課題	-				国庫支出金					
事業の目的	子どもたちが集う魅力ある学校図書館づくりを支援するとともに、司書教諭、司書教諭補助員等をサポートし、子どもたちが学校や家庭で読書に親しむ機会及び学校図書館活動を充実にするため。				事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況		-	県支出金			
事業の概要	学校訪問ブックトーク事業、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)、ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修				評価		有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-		地方債							
ISO 14001 関連性	環境				評価		効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		その他特財							
					総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		一般財源								
					H29年度当初積算根拠		理由		-		人件費(B)									
					H29年度の方向性		理由		-		正職員									
					H29年度の方向性		理由		-		従事割合									
					H29年度の方向性		理由		-		時間外勤務									
					H29年度の方向性		理由		-		臨時職員等									
					H29年度の方向性		理由		-		事業コスト(A+B)									
					H29年度の方向性		理由		-		事業実施コスト									
					H29年度の方向性		理由		-		事業費(A)									
					H29年度の方向性		理由		-		国庫支出金									
					H29年度の方向性		理由		-		県支出金									
					H29年度の方向性		理由		-		地方債									
					H29年度の方向性		理由		-		その他特財									
					H29年度の方向性		理由		-		一般財源									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

事務事業名	04 図書館ボランティア事業	指標名	-				指標種別					指標の概要	-			
戦略プラン		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略		実績	-	-	-											
個別計画	-	H27年度				H28年度				その他の指標						
根拠法令等	特になし	改善目標	ボランティア活動を円滑に進めるため、図書館とボランティア・ボランティアグループ同士の連携を強化する。				改善目標				-					
事業分類	A 任意的事业	事業計画	・前年度3月中 ボランティアの募集 ボランティア説明会 各ボランティア見学(新規) ・本年度4月～ 各9つのボランティアで活動開始				事業計画 ・前年度3月中 ボランティアの募集 ボランティア説明会 各ボランティア見学(新規) ・本年度4月～ 各9つのボランティアで活動開始				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
執行体制	職員のみ	活動実績	143名の方にボランティア登録をしていただき、9つのボランティアに分かれ活発な活動が行われた。(おはなし会・おとなのためのブックトーク・本の修理・本の配架・地域資料の収集・音訳・点訳・国際化サービス・児童サービス)				上半期活動実績				事業費(A)	57千円	43千円	123千円	0千円	
事業の目的	図書館事業の支援とボランティア自身の生涯学習の一環とし、ボランティア活動の機会を提供するとともに、図書館の事業拡大の一翼を担う。	成果	9つのボランティアに分かれ活発な活動が行われた。図書館事業の裏方に協力いただき、図書館事業の充実に成果があった。(おはなし会・おとなのためのブックトーク・本の修理・本の配架・地域資料の収集・音訳・点訳によるサービス)				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	図書館のボランティアに登録し、図書館の支援や生涯学習の一環として、その知識・技能を無償で提供いただく(ボランティア)事業である。	課題	個々のボランティアグループの活動が主であり、他グループとの連携がないため、活動意欲の継続・向上が図れるよう連携がとれる環境を整えることが課題である。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 関連性	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-			一般財源	57千円	43千円	123千円	0千円		
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			人件費(B)	1,899千円	1,857千円	1,857千円			
										正職員	従事割合	0.25人	0.25人	0.25人		
										時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間			
										臨時職員等	無	無	無			
										事業コスト(A+B)	1,956千円	1,900千円	1,980千円			
										H29年度当初積算根拠	-					
										H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

事務事業名	05	視聴覚教材機材の貸出事務 (視聴覚ライブラリー)	指標名	-				指標種別						
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	-		
戦略プラン			実績	-	-	-								
総合戦略			H27年度				H28年度				その他の指標	-		
個別計画	-		改善目標	少しでも、多くの市民の皆様にご利用していただけるよう、学校、幼稚園、保育所等への広報等に努めること。				改善目標	現況の視聴覚教材を有効に貸出できるよう広く広報する。					
			事業計画	図書館の視聴覚資料とは別に所蔵している旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム・16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を年間を通して、市内学校、幼稚園、保育所等に貸し出す事業である。				事業計画	年間を通して旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム及び16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を貸出す。					
根拠法令等		つくば市視聴覚教材機材の貸出しに関する規則	活動実績	視聴覚機材の貸出回数：16ミリ映写機9回、ビデオプロジェクター1回、スクリーン2回、視聴覚教材の貸出回数：16ミリフィルム24個、VHSビデオテープ4個、視聴者数610名の実績となった。				上半期活動実績	-					
事業分類		A 任意的事業	成果	視聴覚機材の貸出回数：計12回、視聴覚教材の貸出回数：計28個、視聴者数610名の実績となり、市内幼稚園、保育所等の情操教育の推進の一助となった。				上半期成果	-					
執行体制		職員のみ	課題	新たな教材の購入ができないため、教材の老朽化への対応と市民への広報等が今後の課題である。				課題	-					
事業の目的		つくば市内の学校、幼稚園、保育所等を対象とし、視聴覚ライブラリーとして、視聴覚教育への動機づけを図り、豊かな情操教育の推進を目的とする。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-		
			事業の概要	図書館の視聴覚資料とは別に所蔵している旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム・16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を年間を通して、市内学校、幼稚園、保育所等に貸し出す事業である。				-						
ISO 14001	環境 関連性	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-			
			評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-			
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
										H29年度の方向性	-	理由	-	

# 予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

事務事業名	06 つくば市図書館協議会運営事業	指標名	-				指標種別					指標の概要	-			
戦略プラン		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略		実績	-	-	-											
個別計画	-	改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標	-				
根拠法令等	図書館法	事業計画	つくば市図書館協議会の開催(年3回)				つくば市図書館協議会の開催(年3回)				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業分類	C 義務的事業	活動実績	つくば市図書館協議会の開催 7月23日, 11月18日, 3月4日				上半期活動実績				事業費(A)	240千円	160千円	330千円	0千円	
執行体制	職員のみ	成果	図書館事業に関して提案した議題等に対し, 様々な意見が出され図書館運営に寄与した。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに, 図書館の行う図書館奉仕につき, 館長に対して意見を述べる機会を設けるため。	課題	協議会委員からの幅広い意見を聞くことで, 図書館運営に反映させる。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	つくば市図書館協議会の開催(年3回)	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
			効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-			一般財源	240千円	160千円	330千円	0千円	
			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			人件費(B)	152千円	149千円	149千円		
										内訳	正職員	従事割合	0.02人	0.02人	0.02人	
											時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
											臨時職員等	無	無	無		
											事業コスト(A+B)	392千円	309千円	479千円		
											H29年度当初積算根拠	-				
											H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	07	図書館資料の収集, 整理及び保存事務	指標名	-				指標種別									
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン			実績	-	-	-	-	-	-	-	-	指標の概要	-				
総合戦略			H27年度				H28年度				その他の指標	-					
個別計画	-	-	改善目標	図書館選定委員会を通してより良い図書資料及び視聴覚資料を購入, 整備, 保存する。				改善目標	図書館選定委員会を通してより良い図書資料及び視聴覚資料を購入, 整備, 保存する。								
			事業計画	毎週図書館選定委員会を開き, 図書資料の選定及び発注, 購入。 視聴覚担当者による, 視聴覚資料の選定及び発注, 購入。				事業計画	毎週図書館選定委員会を開き, 図書資料の選定及び発注, 購入。 視聴覚担当者による, 視聴覚資料の選定及び発注, 購入。								
根拠法令等			活動実績	図書資料受入 20,558冊 視聴覚資料の受入 568点				上半期活動実績	-								
事業分類			成果	図書館選定委員会において選書され, 図書資料及び視聴覚資料が受入でき, 利用者に提供することができた。				上半期成果	-								
執行体制			課題	現在書架に余裕がなく, 資料の受入と同時に廃棄も行っていない状態である。後世に残すべき資料を保全し多様な情報を提供できるよう, 将来的には増設や分館の設置等により書架を拡張し, 資料を長く保存できる環境を整備する必要がある。				課題	-								
事業の目的			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業の概要			評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			有効性	-			事業費(A)	36,507千円	36,497千円	37,720千円	0千円	
				効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
				総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
												一般財源	36,507千円	36,497千円	37,720千円	0千円	
												人件費(B)	15,458千円	15,391千円	15,503千円		
												正職員	従事割合	2.00人	2.00人	2.00人	
												時間外勤務	100.00時間	200.00時間	242.00時間		
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	51,965千円	51,888千円	53,223千円		
												H29年度当初積算根拠	-				
ISO 14001												H29年度の方向性	-	理由	-		



予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	08 図書館の広報事業				指標名	-				指標種別					指標の概要	-					
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
戦略プラン					実績	-	-	-	-	-	-	-					その他の指標	-			
総合戦略					H27年度				H28年度												
個別計画	-				改善目標	図書館ホームページの適切な更新を行う。市広報をはじめとし、様々な機会を捉えて継続的な情報発信を行う。				改善目標	図書館ホームページの適切な更新を行うとともに、市広報をはじめとし継続的な情報発信を行う。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
根拠法令等	特になし				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ホームページの運営管理</li> <li>・広報つくばへの催事案内等掲載</li> <li>・南2駐車場エレベーターホールへの掲示</li> <li>・図書館通信「ヨモッカ」</li> <li>・「こどもヨモッカ」</li> </ul>				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ホームページの運営管理</li> <li>・広報つくばへの催事案内等掲載</li> <li>・南2駐車場エレベーターホールへの掲示</li> <li>・図書館通信「ヨモッカ」</li> <li>・「こどもヨモッカ」</li> </ul>					事業費(A)	0千円	0千円	305千円	0千円	
事業分類	A 任意的事業				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ホームページの運営管理(随時)</li> <li>・広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)</li> <li>・南2駐車場エレベーターホールへの掲示(毎月)</li> <li>・図書館通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧)</li> <li>・「こどもヨモッカ」(年2回発行・小学校児童及び図書館利用者へ配布)</li> </ul>				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ				成果	図書館事業に関して、様々な形で広報することにより、図書館に対する利用者の理解と参加が得られた。				上半期成果	-				県支出金	5千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	図書館が実施している各種事業や運営方針などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進とともに、読書活動を推進するため。				課題	図書館が主催している各種事業(行事)等が例年多数実施され好評であるが、広報の仕方によっては更なる参加増が見込まれる。今後は、広報活動について検討していく必要がある。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	図書館ホームページの運営管理(随時)、広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)、南2駐車場エレベーターホールへの掲示(毎月)、図書館通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧)・「こどもヨモッカ」(年2回発行・小学校児童及び図書館利用者へ配布)				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円				
ISO 14001 関連性	-	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		一般財源	-5千円	0千円	305千円	0千円				
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		人件費(B)	760千円	743千円	743千円					
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人				
													時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間					
													臨時職員等	無	無	無					
													事業コスト(A+B)	760千円	743千円	1,048千円					
													H29年度当初積算根拠	-							
													H29年度の方向性	-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	09	図書館の資料の貸出事務	指標名	貸出冊(点)数				指標種別	成果指標	指標の概要	中央図書館資料の貸出冊数(自動車図書館分を含む)	
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
戦略プラン			実績	977889	994775	-						
総合戦略			H27年度				H28年度				その他の指標	-
改善目標			改善目標	市内在住・在勤・在学の個人及び市内を活動場所とする保育園・小学校等の団体利用者に利用カードを発行し、図書館資料の貸出しをし、調査研究・レクリエーションに供する。				改善目標	市内在住・在勤・在学の個人及び市内を活動場所とする保育園・小学校等の団体利用者に利用カードを発行し、図書館資料の貸出しをし、調査研究・レクリエーションに供する。 ・利用者が利用しやすい環境を整える。			
個別計画		-	事業計画	・利用カードの発行 ・図書資料及び視聴覚資料の貸出し				事業計画	・利用カードの発行 ・図書資料及び視聴覚資料の貸出し			
根拠法令等		図書館法	活動実績	中央図書館 貸出人数 227,765人 貸出冊数 951,521冊 自動車図書館 貸出人数 11,312人 貸出冊数 43,254冊				上半期活動実績	-			
事業分類		C 義務的事业	成果	図書資料及び視聴覚資料の貸出しを行い、利用者の調査研究・レクリエーションに寄与できた。				上半期成果	-			
執行体制		職員のみ	課題	・4交流センター図書室のオンライン化により、蔵書の増加、予算の確保及び保管場所について検討が必要である。				課題	-			
事業の目的		図書館資料、記録その他必要な資料を収集整理及び保存して、一般公募の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
事業の概要		つくば市在住、つくば市通勤、通学者及び保育園、小学校等の団体利用者に対し貸出利用カードを発行し、図書資料及び視聴覚資料の貸出しをする。	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-	
ISO 14001	環境	関連性	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-	
			評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	総合評価	-	
			事業実施コスト				H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
			事業費(A)				24,799千円	24,713千円	33,198千円	0千円		
			国庫支出金				0千円	0千円	0千円	0千円		
			県支出金				0千円	0千円	0千円	0千円		
			地方債				0千円	0千円	0千円	0千円		
			その他特財				0千円	210千円	0千円	0千円		
			一般財源				24,799千円	24,503千円	33,198千円	0千円		
			人件費(B)				38,237千円	37,693千円	37,808千円			
			正職員				従事割合	5.00人	5.00人	5.00人		
			内訳				時間外勤務	100.00時間	207.00時間	250.00時間		
			臨時職員等				有	有	有			
			事業コスト(A+B)				63,036千円	62,406千円	71,006千円			
			H29年度当初積算根拠				-					
			H29年度の方向性				-	理由	-			

# 予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

事務事業名	10	調査・研究の支援事務	指標名	レファレンス受付件数				指標種別	成果指標	指標の概要	利用者が図書館窓口, 電話, メールにより必要な資料について問合せをした件数	
戦略プラン			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
実績				-	1700	1700	1700	-	-	-		
総合戦略			実績	1756	1739	-						
個別計画			H27年度				H28年度					
根拠法令等	図書館法		改善目標	利用者が調査・研究しやすい環境整備や資料の収集により、調査・研究の援助を行う。				改善目標	利用者が調査・研究しやすい環境整備や資料の収集により、調査・研究の援助を行う。			
事業分類	C	義務的事業	事業計画	・利用者が調査・研究しやすい環境整備 ・資料の収集により、調査・研究の援助				事業計画	・利用者が調査・研究しやすい環境整備 ・資料の収集により、調査・研究の援助			
執行体制		職員のみ	活動実績	参考図書購入冊数 163冊 調査・研究質問件数 1,739件				上半期活動実績	-			
事業の目的		利用者が調査・研究しやすい環境整備や資料の収集により、調査・研究の援助を行うため。	成果	利用者が調査・研究しやすい環境整備をし、調査・研究の支援を行うことができた。				上半期成果	-			
事業の概要		・参考資料を充実させる。 ・インターネットからの調査・研究の質問受付 ・専門職員を配し資料情報の提供	課題	レファレンスサービスの周知と担当職員の一層の技術向上が望まれる。				課題	-			
ISO 14001 関連性			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
評価			有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-			
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業実施コスト							
事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円	事業費(A)							
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	国庫支出金							
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金							
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債							
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財							
一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源							
人件費(B)	11,390千円	11,142千円	11,142千円		人件費(B)							
正職員	従事割合	1.50人	1.50人	1.50人	正職員							
時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		時間外勤務							
臨時職員等	無	無	無		臨時職員等							
事業コスト(A+B)	11,390千円	11,142千円	11,142千円		事業コスト(A+B)							
H29年度当初積算根拠					H29年度当初積算根拠							
H29年度の方向性	-	理由	-		H29年度の方向性							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係, 管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	61,603千円	61,413千円	74,157千円	0千円
総人件費	91,712千円	90,321千円	90,521千円	
総事業コスト	153,315千円	151,734千円	164,678千円	

事務事業名	11 図書返却事業	指標名	返却総数				指標種別	成果指標	指標の概要	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに返却された図書資料の冊数	
戦略プラン		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
		実績	70446	83613	-						
総合戦略		H27年度				H28年度				その他の指標	-
改善目標		改善目標	・返却場所である交流センター等の配送回数の適切な対応をする。 ・市庁舎のブックポスト利用が増えることにより、回収回数を増やして対応する。				改善目標	・返却場所である交流センター等の配送回数の適切な対応をする。 ・市庁舎のブックポスト利用が増えることにより、回収回数を増やして対応する。			
個別計画	-	事業計画	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターの図書返却を回収又は配送				事業計画	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターの図書返却を回収又は配送			
根拠法令等	特になし	活動実績	返却総数 オンライン4交流センター図書室64,153冊 並木交流センター 7,308冊 広岡交流センター 153冊 豊里交流センター 1,312冊 大穂交流センター 2,432冊 市庁舎ブックポスト 8,255冊				上半期活動実績	-			
事業分類	A 任意的事業	成果	利用者のニーズにあわせ、図書の返却の回収及び配送ができた。				上半期成果	-			
執行体制	職員のみ	課題	配送に従事する職員は、自動車図書館の運転業務との兼務であるため、これ以上返却ポストを増やすことは難しく、今後の配送業務については、人員確保が課題である。				課題	-			
事業の目的	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに図書の返却を受けることにより、市民の利便性の向上に資するため。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
事業の概要	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに図書資料の返却ができる事業である。	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
ISO 14001 関連性	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-			
		評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-			
		事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初				
		事業費(A)		0千円	0千円	0千円	0千円				
		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円				
		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円				
		一般財源		0千円	0千円	0千円	0千円				
		人件費(B)		5,316千円	5,200千円	5,200千円					
		正職員		従事割合	0.70人	0.70人	0.70人				
		内訳		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間				
		臨時職員等		無	無	無					
		事業コスト(A+B)		5,316千円	5,200千円	5,200千円					
		H29年度当初積算根拠									
		H29年度の方向性		-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	13	オンライン地域交流センター図書室運営事業に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	0千円	32,075千円	32,474千円	0千円
総人件費	0千円	3,714千円	3,714千円	
総事業コスト	0千円	35,789千円	36,188千円	

事務事業名	01	オンライン地域交流センター図書室運営事業	指標名	-	指標種別		指標の概要	-				
戦略プラン			目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		
総合戦略			実績	-	-	-						
個別計画	-		H27年度				H28年度					
根拠法令等	-		改善目標	中央図書館とオンライン地域交流センター図書室とのサービスの統一化に向け指導しつつ、蔵書の適切な管理を行う。				改善目標	・オンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室の図書資料の収集に努め、蔵書増を目指す。 ・委託先要員の研修を行いサービスの向上を目指す。			
事業分類	A	任意的事業	事業計画	業務委託契約 委託要員研修 図書資料の発注 蔵書点検の実施				事業計画	業務委託契約 委託要員研修 図書資料の発注 蔵書点検の実施			
執行体制		一部委託	活動実績	平成27年度から中央図書館で業務委託契約を行い、サービスの統一化を図り、蔵書の管理指導を行った。				上半期活動実績	-			
事業の目的		オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することによって中央図書館と4箇所の交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と地域図書館サービスの向上に資する。	成果	中央図書館と同一のサービス提供を図り、利用者の利便性を向上させた。				上半期成果	-			
事業の概要		オンライン化されている地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することによって、中央図書館と4箇所の交流センター図書室との連携を強化する。	課題	蔵書数が少ないので、今後更に図書資料の収集に努める。				課題	-			
ISO 14001 環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
評価			有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-			
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業実施コスト							
事業費(A)	0千円	32,075千円	32,474千円	0千円	事業費(A)							
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	国庫支出金							
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金							
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債							
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財							
一般財源	0千円	32,075千円	32,474千円	0千円	一般財源							
人件費(B)	0千円	3,714千円	3,714千円		人件費(B)							
正職員	従事割合	0.00人	0.50人	0.50人	正職員							
正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	正職員							
臨時職員等		無	無	無	臨時職員等							
事業コスト(A+B)	0千円	35,789千円	36,188千円		事業コスト(A+B)							
H29年度当初積算根拠	-											
H29年度当初積算根拠	-	理由	-									